

令和5年度全国学力・学習状況調査結果について

1 実施日 令和5年 4月18日（火）

2 調査対象 第6学年 児童10名

3 調査内容

(1) 教科に関する調査（国語，算数）

①身につけておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や，実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等

②知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や，様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等

上記①と②を一体的に問う。

(2) 学習意欲，学習方法，学習環境，生活の諸側面等に関する質問紙調査

4 調査結果

(1) 教科に関する調査

国語は，全国平均を下回りました。
算数は，おおむね全国平均でした。

(2) 児童質問紙調査

成果が見られた項目

○家で自分で計画を立てて勉強していますか（学校の授業の予習や復習を含む）。

○先生は，あなたのよいところを認めてくれていると思いますか。

○学校に行くのは楽しいと思いますか。

○道徳の授業では，自分の考えを深めたり，学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか。

○いじめは，どんな理由があってもいけないことだと思いますか。

課題が見られた項目

●新聞を読んでいますか。

●家庭学習の課題（宿題）として，どの程度PC・タブレットなどのICT機器を使用して，英語の音声を開いたり英語を話す練習をしたりしていますか。

5 学力向上の取り組み

今回の調査結果では活用力に関する問題に課題が見られました。本校では今後，次の2点について重点的に取り組んでいきます。

・少人数でも「わかる・できる」授業の模索及び実施。

・授業を中心にし，教育活動全体を通して表現する力を育てられるようにする。

6 保護者・地域の皆様へ

児童の学習環境・生活環境づくりについて，次の点で家庭や地域の方々のご協力をお願いいたします。

○家庭学習について

・読書や新聞等を通し，社会的事象へ興味・関心をもつこと

○読書活動について

・家庭で読書する習慣づくり

○地域の行事や体験活動等への参加

・多くの人とのふれあいや豊かな体験活動